

	号外	定価 1部 2円	県職労独自割引
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内	No.2311 2014年 11月11日 夏油高原スキー場前売り引換券 希望の方は各支部書記局へ！

14 確定闘争情報 - ⑦ 職場

県職労独自課題

確定期最終！

12日、総務部長交渉

最高号給到達者の処遇改善！ 欠員解消・人員確保！

県職労は県地公共闘の交渉結果を踏まえ、県職労独自課題における給与・諸手当等の改善を求め、12日、小田島総務部長と最終交渉を行う。

長年の課題となっている最高号給到達者の処遇や、欠員・人員不足の解消等、職場に直結した課題について、前進回答を求めていく。

主な課題と、明日の交渉内容については次のとおり。

	交渉課題	明日の交渉内容
最高号給到達者の処遇改善について	5級の最高号給到達者が非常に多く、給与構造の課題。勤務意欲維持のためにも早期解消を。	解消のための具体的方策を求めていく。
人員の確保について	今年の欠員について、早期解消を図ること。来年度に向けた人員の確保を行うこと。	欠員解消のための採用方針について、人員確保の具体的対策を確認する。
超過勤務の縮減について	超過勤務の縮減に向けた対策の検討状況や、超勤手当の十分な予算確保について。	超勤について、人員は増えているが、縮減されていない。現状と課題をどう考えているか。
現給保障の廃止について (地公共闘課題)	地公共闘の交渉では、個々の職員へ着目し勤勉意欲の確保を取り組むとの回答だが、具体的にはどのようなことか。	現給保障対象者の実態を訴え、地公共闘の判断を基に、勤務意欲の確保等の対策を求める。
通勤手当の改善について (地公共闘課題)	通勤者の負担軽減について、手当改善を求める。	交通用具使用者の手当について、課題認識を確認する。

引き続き前進回答を求めて、県職労では確定闘争に全力をあげ取り組んでいく。

その他、県職労独自課題でのこれまでの回答状況

	交渉課題	回答内容
任期付職員の対応	任期付職員の任期3年から5年への延長の手続き状況について。 5年経過後の対応について。	5年延長者へは部局を通じて通知している。5年経過後についてもマンパワー確保は重要。具体的に研究を進めている。
超過勤務の予算の確保	年度当初、予算不足が心配されていたが、その後対応について	各部局からの聞き取り結果により、12月補正で増額する。昨年度の規模を超える見込み。

現業評議会独自交渉実施

人事課・農林水産企画室・県土整備企画室 交渉

現業評議会では、11月10日、人事課総括課長、農林水産企画室管理課長、県土整備企画室管理課長との独自交渉を行った。現業評議会の最大の課題である、人員確保の課題を中心に各課長の基本姿勢について確認した。主な交渉内容については次のとおり。

人事課総括課長交渉

【県職労】現業職場の厳しい実態からも人員の確保が必要。今年退職者の補充及び、再任用希望者の採用をお願いする。

【総括課長】人員体制については、部局からの意見を聞いて進めることにしている。再任用については、重要な課題であり十分に配慮する。

【県職労】再任用を希望しない場合などは、新規採用での補充をお願いする。

【総括課長】欠員については再任用、現役問わず同じ視点で考えている。配置については部局から話を聞いて判断したい。

農林水産企画室管理課長交渉

【県職労】今年度の定年退職者について、希望により再任用として採用のこと。希望がない場合、正規での補充を要望する。

【管理課長】現場の人員確保について意見を聞きながら、再任用の希望があれば採用することを考えている。

【県職労】現業職員の専門性を考慮し、現場技術の継承にも配慮した採用を行って欲しい。

【管理課長】技術の継承は重要。長期の視点で対応するよう進めていきたい。

県土整備企画室管理課長交渉

【県職労】今年の定年退職予定者の再任用希望があった場合の採用について、欠員となる場合は正規補充について確認したい。

【管理課長】再任用について、希望があれば認められるものと考えている。基本的に退職による欠員は補充を求めていくことにしている。

【県職労】現業職場の専門性について、どう考えるか。1人職場の解消について確認したい。

【管理課長】現業の業務は単に運転だけでなく、道路事情も把握しており重要と考えている。

1人職場の解消は定数増とすることであり、非常に厳しい状況である。